

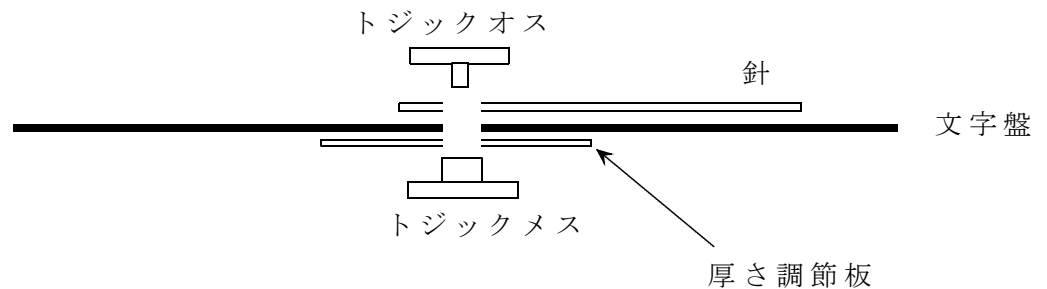
単針時計の軸の工夫 & 単針時計ミニ

和歌山 小田富生

◎単針時計の軸の工夫

単針時計の作り方では、軸をボルトとナットで針を回転させる仕組みにしました。その後、ハトメ方式でかなり簡単に作ることができるようになりました。今回は、おそらく決定版！になると思います。トジック方式です。

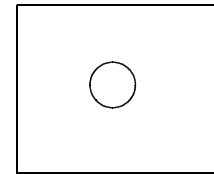
①時計の中心に 5 mm の穴をポンチであける。



②上の図のように、厚さ調節板、文字盤、針をトジックで挟んで留める。

トジックの隙間は 1.7mm なので、厚さ調節板、文字盤、針の合計が 1.7mm より薄いと針がブラブラとなって目的の所で止まってくれない。少し厚いくらいにすると、針はどこでも止まったままになる。

厚さ調節板は、3 cm 四方くらいで真ん中に 5 mm の穴をあける。板目紙や厚紙を重ねるなどして、目的の厚さになるように調節する。



※トジックの入手先

メイワパーツ (<http://www.meiwa-sng.com/>) 少量販売 (50 個) とネコポス (300 円) 対応なので購入しやすいです。

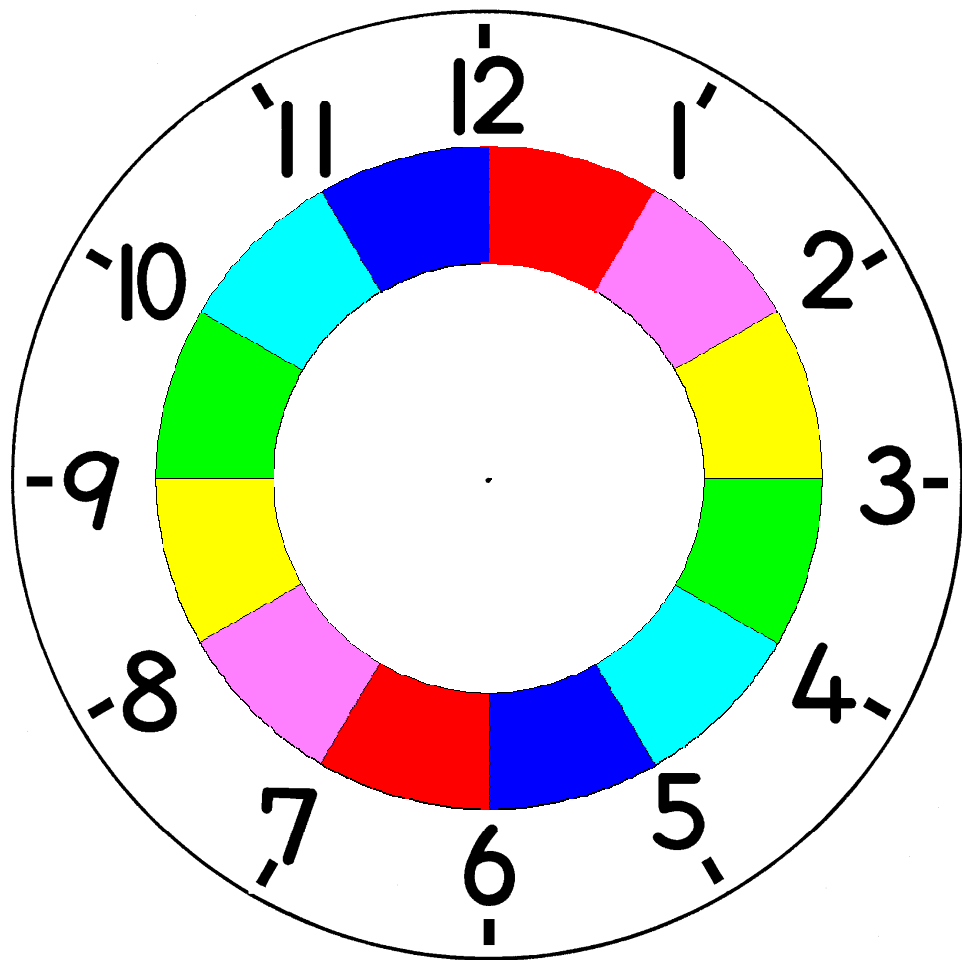
◎単針時計ミニ

トジック使うと簡単に単針時計が作れます。そこで、子どもたちが操作できるような単針時計ミニはどうかと作ってみました。(といっても、型紙を縮小しただけですが…)

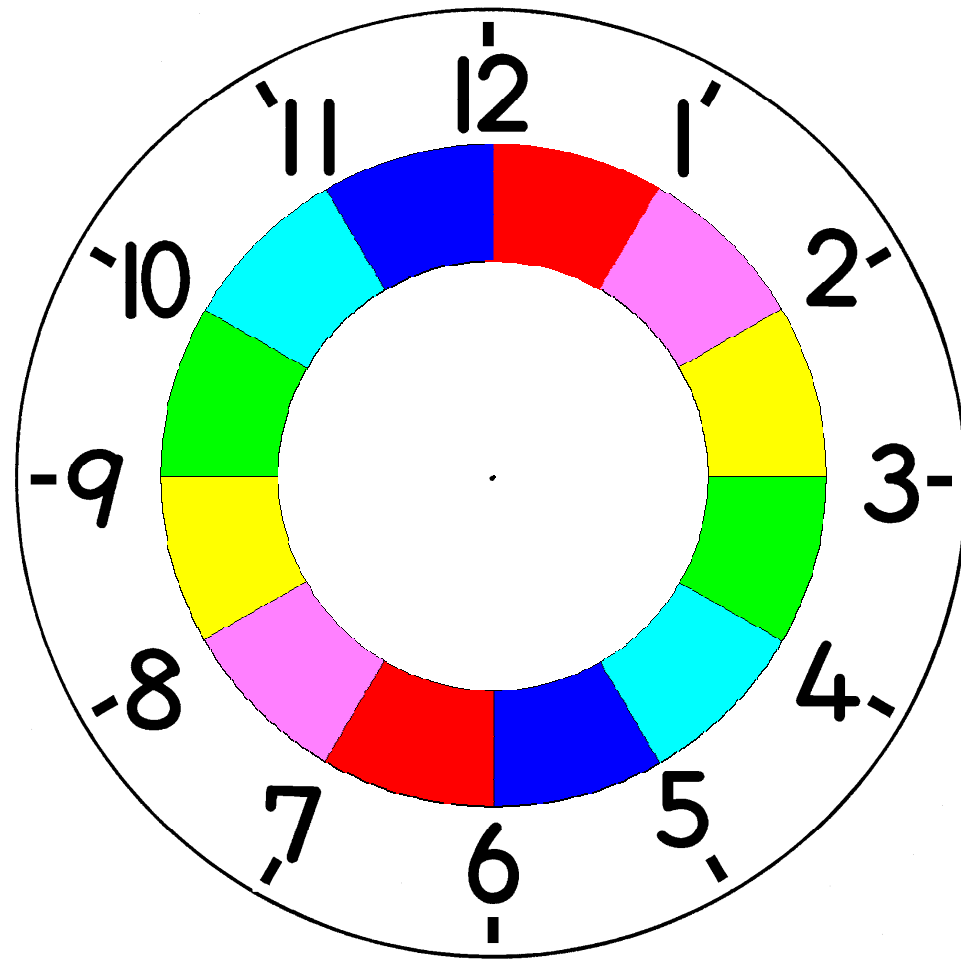
針の型紙も作りました。A4 の半分に印刷できるようにしています。ラベルシートに印刷して、薄いプラスチックシートに貼りつけると、それに沿ってカッターやハサミで針を切り抜くことができます。

プラスチックシートは、100 均のクリヤーブックの表紙がおすすめです。

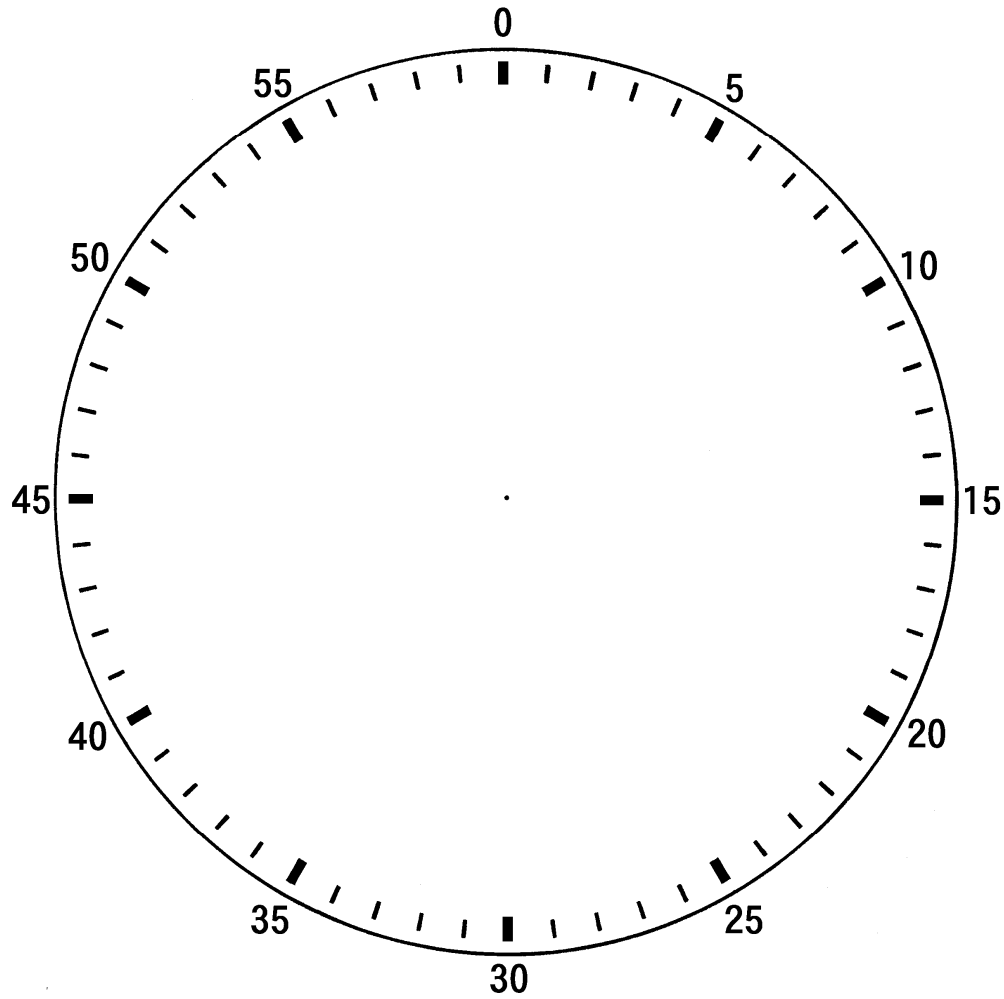
みじがいはり(じ)のとけい



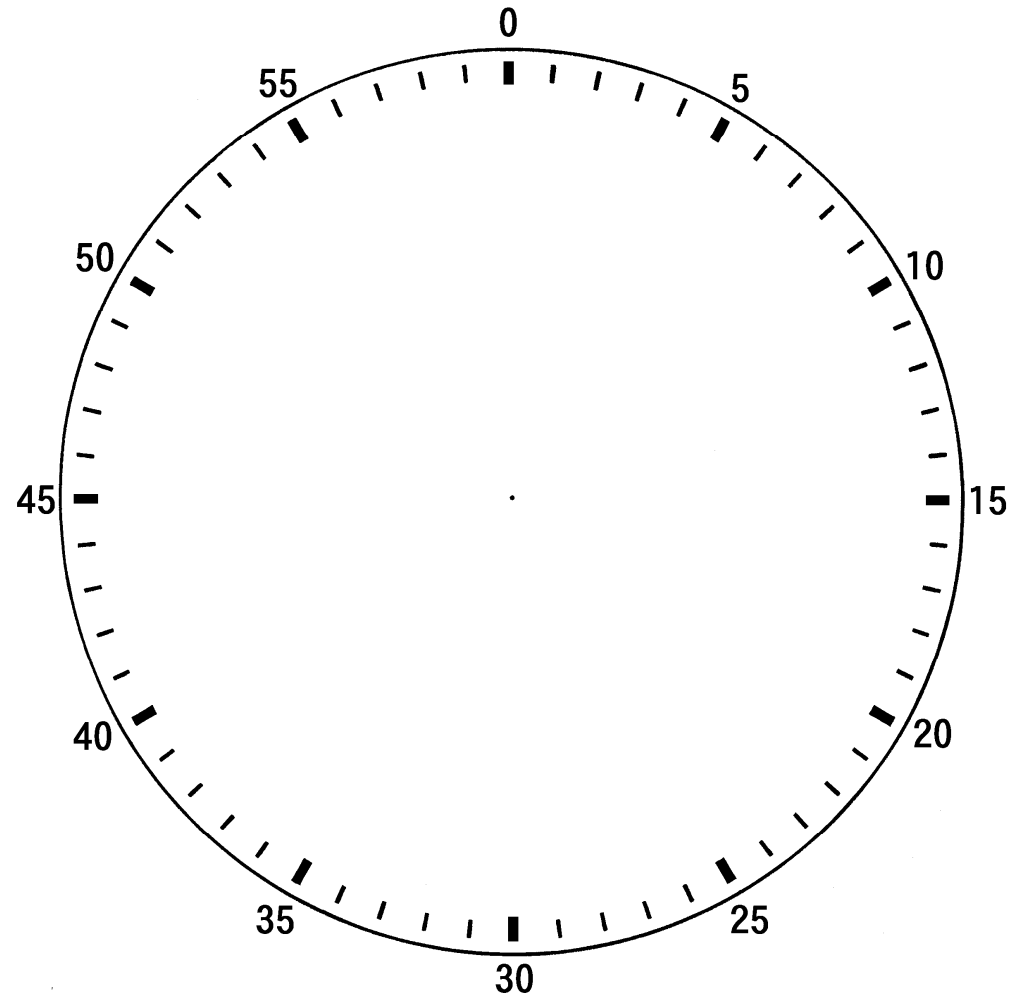
みじがいはり(じ)のとけい

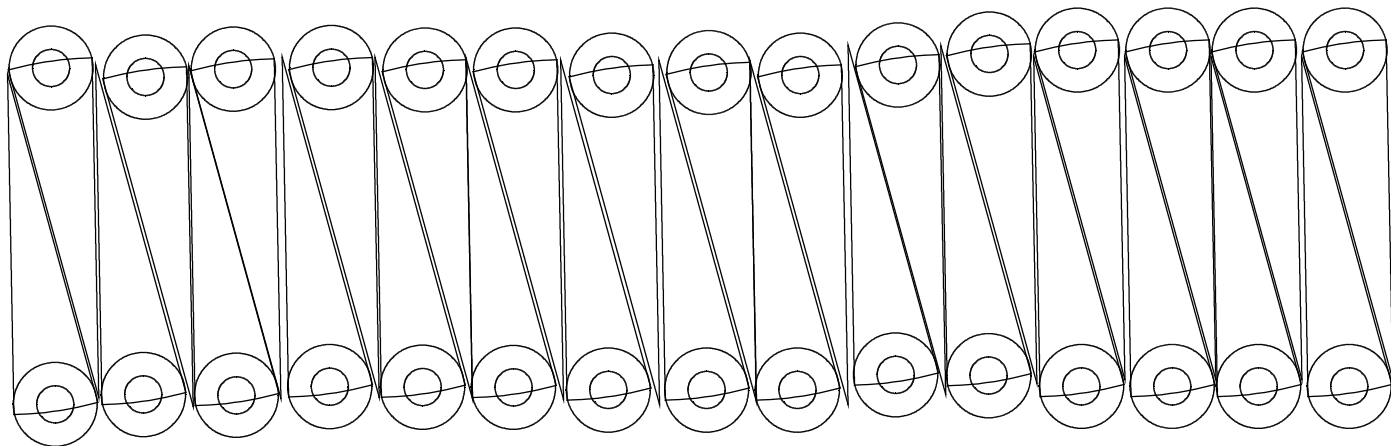
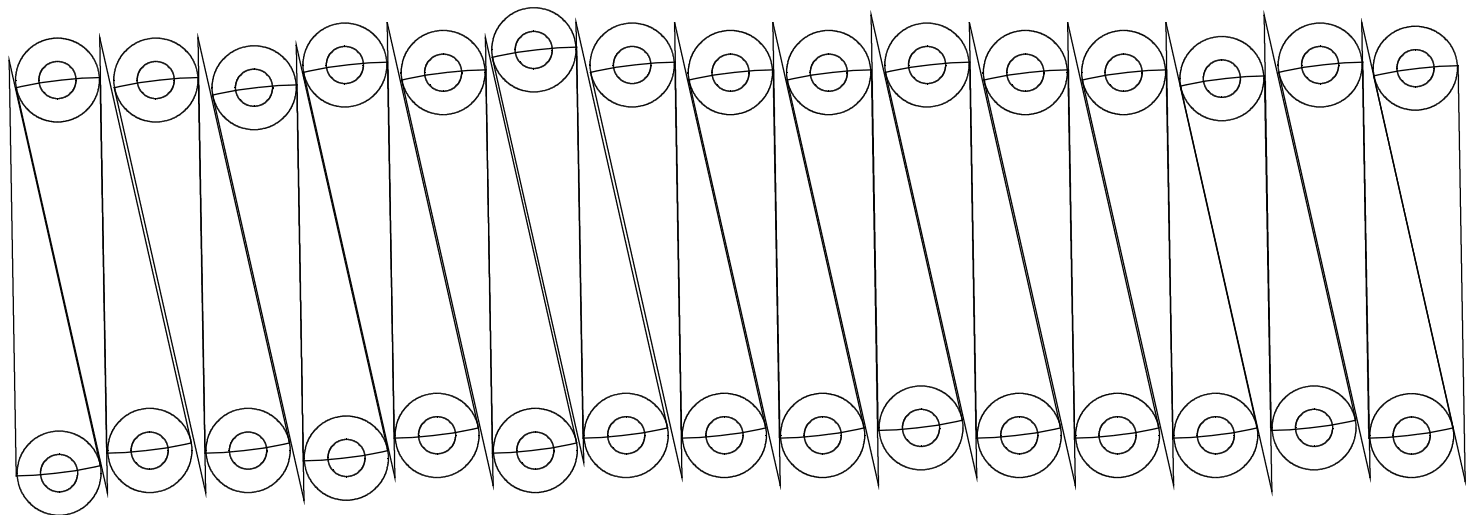


ながいはり(ぶん)のとけい



ながいはり(ぶん)のとけい





A5用長短針